

2025年12月7日(日)

待降節第2主日

降誕前第3主日

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」

-聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる-

(マタイによる福音書28:19~20)

朝第1礼拝 9:00~10:10

朝第2礼拝 10:30~11:50

<神の招き>

前奏 ①異邦人救うまことの光

ブクステフーデ

バッハ

②私の心は神をあがめ

バッハ

招きの詞 詩編98:1~6

交誦詩編 19:8~11

讃美歌 242(1, 2節)

<神の言葉>

聖書 イザヤ書9:1~6

(旧約 聖書協会共同訳 1059頁)

マタイによる福音書1:18~25

(新約 聖書協会共同訳 1頁)

祈祷

讃美歌①53

唱②243

説教 「キリスト誕生の予告」熊江秀一牧師

祈祷

黙想

讃美歌 231

聖餐

讃美歌 81

<神への応答>

信仰告白 日本基督教団信仰告白

献金

主の祈り

宣教報告②

頌栄 28

派遣と祝福

後奏 ①異邦人救うまことの光

バッハ

②私の心は神をあがめ

バッヘルベル

宣教報告①

夕礼拝 18:00~19:10

<神の招き>

前奏 いざ来ませ、異邦人の救い主

バッハ

招きの詞 詩編98:1~6

交誦詩編 19:8~11

讃美歌 6

<神の言葉>

聖書 レビ記13:1~8

(旧約 聖書協会共同訳 167頁)

ルカによる福音書5:12~16

(新約 聖書協会共同訳 108頁)

祈祷

讃美歌 271

説教 「清くなれ」

佐藤潤伝道師

祈祷

黙想

讃美歌 464

司式 熊江秀一牧師

聖餐

讃美歌 81

<神への応答>

信仰告白 日本基督教団信仰告白

献金

主の祈り

宣教報告

頌栄 26

派遣と祝福

後奏 イエス・キリストをほめたたえよ バッヘルベル

今週の御言葉

このすべてのことが起ったのは、主が預言者を通して言われたことが実現するためであった。

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。

その名はインマヌエルと呼ばれる。」

これは、「神は私たちと共におられる」という意味である。(マタイによる福音書1章22~23節)

次週の礼拝(12月14日)

① 9:00、② 10:30

説教「東方の博士たち」熊江秀一牧師

ミカ書5:1~5、マタイによる福音書2:1~6

交誦詩編85:1~14

讃美歌242(1,2,3節)、229、236、27

夕 18:00

説教「あなたの罪は赦された」佐藤潤伝道師

詩編32:1~5、

ルカによる福音書5:17~26

交誦詩編85:1~14

讃美歌50、280、469、26

クリスマス・ワーシップ(讃美礼拝) 14:00~15:00

説教「マリアに予告された知らせ」熊江秀一牧師、ルカによる福音書1:26~38

賛美:聞けや歌声(聖歌123)、Happy Birthday Jesus、ノエルをばはじめに(聖歌127)、

イエスわが望み、愛の光、一緒に、主の祈り、よろこびの歌、Peace of Christ

■今週の祈祷課題■

独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. アドベント（待降節）の歩みの為に
4. クリスマス・ワーシップの為に
5. 地域会の為に
6. 牧師・伝道師の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
8. 病気の兄姉の為に

***関東教区お祈りカレンダー** シャロンのばら教会 草加教会 東京聖書学校吉川教会

◇先週の説教より 「救いの系図」 マタイによる福音書1章1～17節、創世記12章1～4節

熊江秀一牧師

マタイ福音書の冒頭の「イエス・キリストの系図」はキリストによる救いの系図である。その中に私たちの名前も含まれる。

この系図は、アブラハムに始まりキリストに至るイスラエルの歴史を14代ずつ三つに分けている。御言葉に従ったアブラハムと、彼による万民の祝福の約束からイスラエルの歴史は始まる。しかし彼らは神を忘れ、滅びの道を歩み、さらに暗黒の歴史を歩む。その中に神はキリストを与える。14は「数の箴言」と呼ばれると同時にダビデを象徴する。この系図には、罪の歴史とダビデのようなメシアを与える神の救いが込められる。

この罪と救いを明らかにするためにマタイは系図に5人の女性を入れた。これは驚くべきことであった。

遊女の姿となり、義理の父ユダに体を売って子を作った「タマル」。異邦人の遊女「ラハブ」。イスラエルが忌み嫌った民族のモアブ人「ルツ」。

そしてダビデ最大の罪となった「ウリヤの妻」。最初の14代の中にさえ、罪の現実が明らかにされる。しかしここで明らかにされるのは女性に対する浮気心と共に神に対する浮気心であった。ダビデ王以降の歴史は、まことの神から離れ、偶像や武力に心奪われていった罪の歴史である。その結果、国は滅び、大国の力に翻弄される暗黒の歩みとなる。そして王家の家系は貧しい大工ヨセフに至る。その妻「マリア」から主イエスがお生まれになった。

罪にまみれた横軸である人間の歴史の只中に、縦軸の出来事として神の御子が突入して下さった。その時、私たちの罪の系図はキリストによる救いの系図となった。

「系図」は「出来事」「物語」とも訳せる。ここからキリストの十字架と復活による私たちの救いの物語が始まった。その神の救いの物語に心を刻もう。

礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままでぞ。。は祈祷当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。